



県内で被害が爆発的に発生 私は「大丈夫」が一番危ない 振り込め詐欺に遭わないために

様々な名目で現金をだまし取る「振り込め詐欺」が昨年末から県内で多発し、今年に入っても2月17日現在で48件発生し、総額7,900万円を超える被害となっています。

多発する振り込め詐欺の手口は、

○息子や孫を名乗る「オレオレ詐欺」

○役所の職員等を名乗る「還付金詐欺」

の2種類です。

一度だまされると、数十万円以上の被害が出ており、これらのほとんどは、暴力団の資金源になっています。全国的に見ると、平成19年には、1年間で約18,000件の発生があり、約250億円の被害が出ています。

これらの被害に遭わないためには、自主防犯対策と近隣、家族とのコミュニケーションを強化することが重要です。

なぜ振り込め詐欺にだまされるのか？

現在県内で被害が多発

○還付金詐欺……税務署や社会保険事務所、市役所等の職員を装い「税金、年金等の還付金(払い戻し)があります。」等とウソを言って、銀行やコンビニの現金自動預払機(ATM機)の操作を指示して、巧妙にお金をだまし取る手口

1月末から2月4日にかけて、橿原市内において、社会保険庁の職員を名乗る者から

医療費を還付するはがきが届いていますか。医療費の還付は、銀行のATMを使って行っています。銀行やスーパー等のATMへ行ってください。

などと言って、ATM機を言葉巧みに操作させ、現金を振り込ませる詐欺事件が続発しています。

還付金の払い戻しはATM機で行うことは絶対にありません。

《全国の被害状況》

約2,600件発生、約30億円の被害(平成19年中)

《特徴》

▽被害者の約71%が女性です。

▽50歳以上の女性の被害者が、全体の約62%を占めています。

(犯人が、家計を預かる女性を対象にねらっているようです。)

その他の手口

○オレオレ詐欺……息子や孫を装ったり、警察官や弁護士等を名乗ったりして、交通事故、わいせつ事案等様々な口実で、示談にするにはお金がいるので、口座にお金を振り込ませる手口

《全国の被害状況》

約6,400件発生、約145億円の被害 (平成19年中)

《特徴》

▽被害者の約73%が女性です。

▽60歳代の女性の被害者が全体の約29%と最も多く、次いで50歳代の女性が約19%となっています。(理由……子供が、社会的に責任のある仕事に就いている年齢となっている。)

▽交通事故に見せかける手口でも、サイレンのほか、被害者とされる相手の泣き声や事故処理の慌ただしい効果音などを吹き込み不安をあおる事案も発生しています。

▽犯人からの着信履歴が警察署、被害者の自宅の電話番号や家族の携帯番号などになっており、信用してだまされた事案も発生しています。

(着信履歴は、偽装することが可能ですので、信用しないでください。ですから、表示された電話番号が正しい場合でも、それだけで信用することなく、必ず掛け直して事実を確認してください。)

○架空請求詐欺……アダルトサイト等の有料サイトを利用したが未払いになっているので、支払わなければ、押しかける、裁判をおこすなどと電話やはがきで脅かし、口座にお金を振り込ませる手口

《全国の被害状況》

約3,000件発生、約38億円の被害(平成19年中)

約3,000件発生、約38億円の被害(平成19年中)

《全国の被害状況》

約3,000件発生、約38億円の被害(平成19年中)